

シートベルト着用指導(県警主催)

平成28年1月29日(金)

上信越自動車道 横川サービスエリア

高橋交通部長挨拶



全員で黙禱



乗務員への指導



乗務員との意見交換



乗客への指導



乗客への啓蒙活動（チラシ等の配布）





高速隊員の呼び掛けを聞く観光バスの乗客—横川SA



軽井沢事故 2週間

シートベルト締めて

群馬・長野県警

観光バスで啓発

「と気を引き締めた。」

善光寺行き観光バスに乗って来た女子大学生(21)は、安全対策の優良会社を示す「セーフティバスマーク」があるか事前に確認したという。「それでも不安はある。今後はしっかりシートベルトを締めた」と話した。

15人が死亡した長野県軽井沢町のバス転落事故から2週間となった29日、群馬・長野両県警高速隊などは、安中市松井田町横川の上信越道下り線横川サービスエリア(SA)で観光バスを対象に啓発活動を実施した。転落事故では、多くの死傷者がシートベルトをしていなかった可能性が指摘さ

れている。バスに乗り込んだ隊員は「どこでどのような時に事故が起こるか分からない」などと乗客にシートベルト着用を徹底するよう呼び掛けた。バス運転手の野木剛さん(42)は「段々と記憶は薄れてしまつので定期的な啓発は大切。雪道はチェーンをしていても滑ることがあ

座席ベルト着用

バス乗客に啓発

15人が死亡した長野県軽井沢町でのスキーバス事故から2週間となる29日、県警は上信越道横川サービスエリア(SA)で事故防止の啓発活動をした。ネクスコ東日本、県バス協会、長野県警からも約40人が参加し、大型バスの乗客にシートベルトの着用や運転手に安全運転を求めた。バス事故では、シートベルトを着用していなかった

乗客が車外に投げ出され、犠牲になった人もいると



バスガイドらが乗客に注意を呼びかけた上信越道横川サービスエリア

みられている。この日は「シートベルト非着用で良いことはありません!」「シートベルトは『命綱』です!!」と書かれたチラシや事故防止の啓発品を配った。東京・池袋発のスキーバス運転手の男性(42)は「アナウンスする前にシートベルトをしてくれるお客様が増えた」。乗客の千葉県松戸市の女子大生(21)は「事故をきっかけにシートベルトを着用するようになった。みんな呼びかけがありました」と話した。